

# 三和分校だより

平成21年度  
第1号 4月  
発行：福知山高校  
三和分校

## 春の苗販売、新聞記事になりました。

2009年(平成21年)4月21日 火曜日 両丹日日新聞



ビニールハウス内で野菜苗の世話をする生徒たち

福知山市三和町千束の福知山高校三和分校(産田兼代子副校長)は、農業科の生徒が育てた野菜と花の春苗販売を27日から始める。

家庭菜園でも栽培しやすい品種を中心に、農業科の生徒55人が、実習授業の一環として育苗に取り組んできた。毎年、販売を楽しみに待つ人も多く、同校の恒例行事として人気を集めている。

野菜苗は、キュウリ、ピーマン、トマト、カボチャ、ナス、キャベツなど12品種、花苗はインパチェンス、マリーゴールド

## 生徒が世話した春苗すくすくと

### 福高三和分校、27日から販売

福知山市三和町千束の産田、サルビアなど7品種で温度管理などの世話をし、平年並みの良い苗に育っているという。

販売は、27日、28日、30日、5月1日の4日間、売り切れ次第終了する。時間は午前9時から午後4時まで。苗を持ち帰る入れ物は持参する。

生徒のみなさんも苗を購入する人は持ち帰り用の入れ物を持ってきてね!

速報です!! H21、4、27

NHK ローカルニュースで放映されます。

4月27日(月)18:10~ 京いちにち

のなかで取り上げてもらえるようです。



京 洛 宗 門

2009年(平成21年)4月23日 木曜日

## 春苗自信作です

福知山高三和分校  
27日から販売

福知山市三和町の福知山高三和分校で、毎年恒例の「春の苗販売」に向け、生徒たちが野菜や草花の栽培に取り組んでいる。

栽培から流通までの流れを学ぶ授業の一環



花が付き始めたインパチェンスの苗を手取る生徒たち(福知山市三和町・福知山高三和分校)

四年の生徒約六十人がキュウリやピーマン、トマト、スイカなど十二種類の野菜と、インパチェンス、マリーゴールド、サルビアなど七種類の草花を主づくりや種まきから、心を込めて栽培している。

今年は二十七、二十八、三十日と五月一日の午前九時から午後四時まで販売する予定で、農業科四年、細見俊宏さん(18)は「生徒が力を合わせて栽培し、いい苗ができました。ぜひ、育ててください」と多くの人の来校を呼びかけている。

(長尾康行)



2/5(火)

京都新聞

### 緑のカーテン作り一役

福知山高三和分校 福知山高三和分校 福知山高三和分校 福知山高三和分校



福知山高三和分校の会員にゴーヤーの苗を手渡す生徒たち(福知山高三和町・福知山高三和分校)

福知山高三和町の福知山高三和分校で、市連合婦人会の依頼で生徒が育てたゴーヤーの苗が成長し、十一日、市連合婦人会は、五百五十人の会員の自宅や小学校などでゴーヤーを育てて「緑のカーテン」をつくり、室内温度を下げる試みを昨年から行っている。

市連合婦人会は、昨年引き続き三和分校にゴーヤーの苗の育成を依頼。生徒たちは、温室で種をまき、三カ月がかりで千八百本の苗を育てた。三和分校を訪れた市連合婦人会の森田愛子

会長は「よい苗をあげよう。ゴーヤーを育てて環境への関心を高めたい」とあいさつした。(長尾康行)

2/5(火)

西丹日日新聞

# 緑のカーテンで 涼しく —— おいしく 味わう夏に



生徒たちから連合婦人会役員たちに苗が引き継がれた

## 連合婦人会 ゴーヤー苗配布

### 福高三和分校で育てた1800本

地球にやさしい「緑のカーテン」を福知山に広げようと、福知山市連合婦人会(森田愛子会長)が今年も全会員にゴーヤーの苗を配布する。育苗は福知山高三和分校に依頼。生徒たちが一生懸命に世話をし、11日に受け取った。各学区の役員を通じて会員宅に3本ずつ届ける。

大きな葉を茂らすゴーヤーは、栽培しやすく、アパートのバルコニーでもプランターで育てることができ、窓の外側にネットを張ってツルをはわせる。と緑のカーテンが出来上がる。すだれと同じように直射日光を遮ることができ、葉が水分を蒸発させる蒸散作用で周囲が涼しくなる効果もあり、エアコン使用を減らすのに役立つことから、近年注目を集めている。

連合婦人会では昨年、土作りから栽培講習会を開催し、普及活動に取り組む。全会員に苗を配布。楽しみながら環境問題への関心を深めた。

昨年は果実の小さい品種だったが、今年は早くから三和分校と打ち合わせをして、実が20センチほどに育つ品種「島ざん」の苗を1800本確保できた。

11日には市内三和町千束の分校で生徒たちによる苗の発表式があり、農業クラブ部長で4年生の細見俊宏君(三和町中)が出が、「地球環境保護に役立てて下さい」とあいさつして、役員たちに苗を手渡した。ゴーヤーは種が心配がなくなつた今の時期からが定植の適期。7月に入れば実がなりだし、10月ごろまで楽しめるという。連合婦人会は昨年、会員から寄せられたアイデア料理を集めたゴーヤーのレシピ集を作っており、今年には調理講習会を開く計画だ。